

事務事業名		企画調整負担金		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		企画課		H28係等名	企画調整係		H27係等名	企画調整係	
基本計画上の位置づけ		政策	9	市民と共に進める行政経営					
		施策	93	良質な行政サービスの提供					
目的	対象(誰・何を)	全国等の情報						指標名及び単位	27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	市政(地域経営)に反映する						対象指標	4
	向上させたい上位施策の成果指標	市役所が提供するサービスに満足している市民の割合(%)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	有益な情報を交換できた団体数の割合(%)			100	100	100	-	
	定性目標	収集した情報をより効果的に活用されるよう市民への発信する。							
事業概要	関係機関へ負担金を支出して情報収集と人的ネットワークを構築し、飯田市がめざす地域経営に活かす。収集した情報をより効果的に活用されるよう市民への発信する。								
27年度事業内容	事業内容				名称			活動指標	
	関係機関へ負担金を支出して情報収集と人的ネットワークを構築し、飯田市がめざす地域経営に活かす。				加入する関係機関 (1)全国過疎地域自立促進連盟負担金 (2)南信州アルプスフォーラム補助金 (3)全国街道交流会議負担金 (4)スローライフサミット負担金			4機関	
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		400	401	398	351				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		400	401	398	351				
人件費計(千円)②		18		18					
正規職員所要時間		5		5					
臨時職員所要時間		0		0					
総事業費①+②		418	401	416	351				
事業内容・目標達成状況の振り返り	過疎や街、地域づくり、スローライフなど各テーマにおいて、関係する団体との連携・交流を通じて、情報交換を行い、市政への活用を進めてきている。								
改革改善の考え方	①問題点	情報収集や人的ネットワークをさらに広げつつ、市政に有用な情報や力を見定めながら集め、活かしていくことが重要である。							
	②改革提案	関係団体との連携を深めつつ、さらに有用な情報収集を進め、市政に活かしていく。形式的な負担金だけの団体の退団を進める。							